

低 価 格 理 由 と そ の 詳 細 内 容

番号	低価格理由	低 価 格 理 由 の 詳 細 内 容
①	資材費(仮設材含む)の低減	
②	労務費の低減	自社従業員・社員の活用
③	機械経費の低減	自社・同族会社機械の活用
④	新材料・新技術	
⑤	作業効率の向上	運搬経路を確認し、運搬時間を検討した結果、作業効率の向上が可能である。
⑥	下請業者の協力	
⑦	経費の低減	
⑧	現場管理費低減	
⑨	安全資機材低減	
⑩	本支店経費の低減	
⑪	利益の低減	企業努力
⑫	受注実績の取得	受注実績づくり
⑬	売上の確保	
⑭	その他	

上表の「低価格理由の詳細内容」は、元請負者が入札時の事情聴取で申告した低価格理由を項目毎に分類して例示したものです。

比較表-1

積算内訳書の比較表

工事区分・工種・種別	単位	入札時					工事完成時					備考
		官積算(予定価格)※		元請(当初予定)		元請/ 官積 (%)	元請(完成時実績)		官積算(最終)※		元請/ 官積 (%)	
		数量	金額	数量	金額		数量	金額	数量	金額		
記入要領	1) 見積り等積算根拠を示すものがあれば添付する。 2) 数量総括表に対応する内訳書にして下さい。 3) 入札時の元請(当初予定)欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認して下さい。 4) 工事完成時の元請(完成時実績)、官積算(最終)欄は、それぞれ調査票の直接工事費、共通仮設費、現場管理費、一般管理費等および工事価格と合致するか確認して下さい。 5) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。											
工事名	平成19年度 長良川東島河道掘削工事											
浚渫(河川)	式	1	75,765,030	1	59,464,600	78.5%	1	53,163,000	1	76,833,220	69.2%	
河川土工	式	1	74,960,230	1	58,214,600	77.7%	1	51,504,000	1	76,028,420	67.7%	
掘削工	式	1	6,186,390	1	5,494,600	88.8%	1	4,631,000	1	6,478,490	71.5%	
残土処理工	式	1	68,773,840	1	52,720,000	76.7%	1	46,873,000	1	69,549,930	67.4%	
仮設工	式	1	804,800	1	1,250,000	155.3%	1	1,659,000	1	804,800	206.1%	
工事用道路工	式	1	804,800	1	1,250,000	155.3%	1	1,659,000	1	804,800	206.1%	
直接工事費	式	1	75,765,030	1	59,464,600	78.5%	1	53,163,000	1	76,833,220	69.2%	
共通仮設費	式	1	7,116,795	1	7,484,900	105.2%	1	13,121,000	1	10,042,027	130.7%	
共通仮設費	式	1	1,245,795	1	3,324,900	266.9%	1	6,049,900	1	4,076,027	148.4%	
共通仮設費(率計上)	式	1	5,871,000	1	4,160,000	70.9%	1	7,071,100	1	5,966,000	118.5%	
純工事費	式	1	82,881,825	1	66,949,500	80.8%	1	66,284,000	1	86,875,247	76.3%	
現場管理費	式	1	18,657,000	1	12,180,000	65.3%	1	17,505,000	1	19,376,000	90.3%	
工事原価	式	1	101,538,825	1	79,129,500	77.9%	1	83,789,000	1	106,251,247	78.9%	
一般管理費等	式	1	11,191,175	1	4,370,500	39.1%	1	2,711,000	1	11,658,753	23.3%	
工事価格	式	1	112,730,000	1	83,500,000	74.1%	1	86,500,000	1	117,910,000	73.4%	

比較表-2

内訳書に対する明細書の比較表

工事区分・工種・種別・細別	単位	入札時						工事完成時						備考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
記入要領	1) 本様式は、比較表-1に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。 2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。													
工事名	平成19年度 長良川東島河道掘削工事													
浚渫(河川)	式	1		75,765,030	1		59,464,600	1		53,163,000	1		76,833,220	
河川土工	式	1		74,960,230	1		58,214,600	1		51,504,000	1		76,028,420	
掘削工	式	1		6,186,390	1		5,494,600	1		4,631,000	1		6,478,490	
掘削(土砂)	m3	33,100	186.9	6,186,390	33,100	166	5,494,600	34,700		4,631,000	34,700	186.7	6,478,490	
残土処理工	式	1		68,773,840	1		52,720,000	1		46,873,000	1		69,549,930	
残土処理	式	1		68,773,840	1		52,720,000	1		45,692,000	1		67,560,810	
残土処理(2)	式	0		0	0		0	1		1,181,000	1		1,989,120	
仮設工	式	1		804,800	1		1,250,000	1		1,659,000	1		804,800	
工事用道路工	式	1		804,800	1		1,250,000	1		1,659,000	1		804,800	
工事用道路	式	1		804,800	1		1,250,000	1		1,659,000	1		804,800	
直接工事費	式	1		75,765,030	1		59,464,600	1		53,163,000	1		76,833,220	
共通仮設費	式	1		7,116,795	1		7,484,900	1		13,121,000	1		10,042,027	
共通仮設費	式	1		1,245,795	1		3,324,900	1		6,049,900	1		4,076,027	
準備費	式	1		0	0		0	1		2,293,000	1		866,132	
木根等処分費	式	0		0	0		0	1		2,293,000	1		866,132	
安全費	式	1		951,500	1		2,970,000	1		2,363,000	1		1,072,600	
交通誘導員	式	1		951,500	1		2,970,000	1		2,363,000	1		1,072,600	

比較表-2

内訳書に対する明細書の比較表

工事区分・工種・種別・細別	単位	入札時						工事完成時						備考
		官積算(予定価格)※			元請(当初予定)			元請(完成時実績)			官積算(最終)※			
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額	
記入要領	1) 本様式は、比較表-1に対する明細を記入することとする。さらにその明細が必要な場合は、本様式を使用しその詳細が明確になるようにする。 2) ※印の官積算欄(予定価格および最終共)は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。													
工事名	平成19年度 長良川東島河道掘削工事													
技術管理費	式	1		294,295	1		354,900	1		354,900	1		294,295	
品質証明費	式	1		76,600	1		76,600	1		76,600	1		76,600	
土壌試験費	式	1		217,695	1		278,300	1		278,300	1		217,695	
イメージアップ(率計)	式	0		0	0		0	1		1,039,000	1		1,843,000	
共通仮設費(率計上)	式	1		5,871,000	1		4,160,000	1		7,071,100	1		5,966,000	
純工事費	式	1		82,881,825	1		66,949,500	1		66,284,000	1		86,875,247	
現場管理費	式	1		18,657,000	1		12,180,000	1		17,505,000	1		19,376,000	
工事原価	式	1		101,538,825	1		79,129,500	1		83,789,000	1		106,251,247	
一般管理費等	式	1		11,191,175	1		4,370,500	1		2,711,000	1		11,658,753	
工事価格	式	1		112,730,000	1		83,500,000	1		86,500,000	1		117,910,000	

比較表-3

手持ち資材の比較表(主要資材)

品名	規格・型式	単位	使用工種等	入札時(当初の予定)				工事完成時(実績)				官単価※ (最終)	備考
				手持ち数量	単価	本工事での使用予定量	不足数量の 手当方法	手持ち数量	単価	本工事での 使用量	不足数量の 手当方法		
バリケード	A型W1200×H800	基	安全管理	50	120	20		50	120	20			率計上のため単価なし
カラーフェンス	W1000×H1180	〃	〃	70	200	50		70	200	50			率計上のため単価なし
方向指示板	H450×W900	〃	〃	30	500	10		30	500	0			率計上のため単価なし
カラーコーン	H700	個	〃	60	30	50		60	30	50			率計上のため単価なし
大型土のう	φ110×108	枚	仮設工	100	950	50		100	950	100			任意仮設のため単価なし
土のう袋	W480×H620	〃	仮設工	1,000	10	50		1,000	10	150			任意仮設のため単価なし
フラワーポット		個	イメージアップ	20	30	6		20	30	20			率計上のため単価なし

記入要領

- 1) 手持ち資材の状況については、主に当該工事で使用予定の資材を記入する。
- 2) 官積算が市場単価の場合、備考欄に市場単価を記入して下さい。
- 3) 実績と官積は、同じ単位による単価としてください。単位が一致しない場合はそれぞれの単位を明記してください。
- 4) 入札時の欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認してください。完成時及び官単価欄は、主要資材相当品のみを記入する。
- 5) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。

工事名

平成19年度 長良川東島河道掘削工事

比較表-5

手持ち機械の比較表(主要機械)

機械名称	規格・型式・能力・年式	単位	入札時(当初の予定)				工事完成時(実績)			官単価※ (最終)	備考
			数量	単価	メーカー名	現在の利用状況	数量	単価	メーカー名		
バックホウ (1.0m3)	324D (H18)	台	1	15,350	新キャタピラー 三菱(株)	未使用	1	15,350	新キャタピラー 三菱(株)		
バックホウ (0.8m3)	320DRR (H18)	〃	1	15,350	〃	〃	1	15,350	〃	17,600	
バックホウ (0.8m3)	PC228US-3NO (H18)	〃	1	15,350	(株)小松製作所	使用中	1	15,350	(株)小松製作所		
ダンプトラック (10t)	FS3FKAD (H3)	台	1	7,828	日野	未使用	1	7,828	日野	15,600	
〃	KC-CXZ82K2D (H9)	〃	2	7,828	いすゞ	〃	2	7,828	いすゞ		
〃	WDB9321412K913273 (H16)	〃	1	7,828	メルセデスベンツ	〃	1	7,828	メルセデスベンツ		
ブルドーザ (10t)	D4H	台	0	7,700	新キャタピラー 三菱(株)	〃	1	7,700	新キャタピラー 三菱(株)		
ブルドーザ (15t)		〃								17,700	官積のみ計上
ブルドーザ (20t)		〃								25,000	官積のみ計上

記入要領

- 1) 本様式には、主に当該工事に使用する予定の手持ち機械の状況を記入して下さい。
 2) 実績と官積は、同じ単位による単価としてください。単位が一致しない場合はそれぞれの単位を明記してください。
 3) 入札時の欄は、入札時に事情聴取した結果と照合確認してください。完成時及び官単価の欄は、主要機械相当品(各機械経費が工事費の約0.3%以上の機器)のみでよい。
 4) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。

工事名

平成19年度 長良川東島河道掘削工事

比較表-6

労務者の確保計画の比較表

記入要領									
1) 下請け労務者と自社労務者を下記のように区分して下さい。 ・下請け労務者は()なしで記入する。 ・自社労務者は()内に記入する。 2) 下請け会社との関係も明記する。 3) 労務単価は必ず記入する。 4) (例)として記入したものは記入例なので、この記入例を消去して使用してください。 5) ※印の官単価欄は、発注者が記入する欄なので請負者は記入しないで下さい。									
工事名									
平成19年度 長良川東島河道掘削工事									
工種	職種	入札時(当初の予定)			工事完成時(実績)			※ 官単価 (最終)	備考
		単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等	単価	員数	下請け会社との関係 下請け会社名等		
掘削工	運転手(特殊)	(16,000)	(124)		(16,000)	(147)		17,700	
残土処理工	運転手(特殊)	(16,000)	(62)		(16,000)	(0)		17,700	
残土処理工 (土砂運搬)	運転手(一般)	14,800	1,240	協力会社 (株)大菅工業、(有)平山建材 同族会社 (株)所建材	14,800	1,446	協力会社(株) 大菅工業、(有)平山建材、(有)長政興業、 (有)本庄運輸、(有)川合建材、山尾興業(株)、 (有)琵琶建運輸、(有)宮川興業、 同族会社 (株)所建材	15,900	
工事用道路工 設置、撤去 張芝復旧	運転手(特殊)	(16,000)	(7)		(16,000)	(20)		17,700	
	土木一般世話役	20,000	3	協力会社(株)中日本ランドスケープ	20,000	5	協力会社(株)中日本ランドスケープ	20,500	
		(18,000)	(2)		(18,000)	(13)			
	普通作業員	14,000	10	協力会社(株)中日本ランドスケープ	14,000	8	協力会社(株)中日本ランドスケープ	14,000	
(13,500)		(7)	(13,500)		(18)				
建設機械運搬	運転手(特殊)	(16,000)	(4)		(16,000)	(4)		17,700	
仮設材運搬	運転手(一般)	(14,800)	(9)		(14,800)	(8)		15,900	

比較表-7

工種別労務者配置計画の比較表

記入要領	1) 職種名は例示したもののなので、該当する職種名に変更して記入して下さい。 2) 世話役が、他の工種または他の工事と兼任している場合、正当な人数になるように按分してください。 3) (例)として記入したものは記入例なので、この記入例を消去して使用してください。													
工事名	平成19年度 長良川東島河道掘削工事													
工種	種別	入札時（当初の予定）					工事完成時（実績）					備考		
		配置予定人数					配置人数							
		運転手 (特殊)	運転手 (一般)	世話役	普通 作業員 (特殊含)	交通 誘導員 A, B含	計	運転手 (特殊)	運転手 (一般)	世話役	普通 作業員 (特殊含)		交通 誘導員 A, B含	計
河川土工	掘削工	2					2	2					2	
	残土処理工	1	20				21		22				22	
仮設工	工事用道路工	1		1	3		5	2	2	1	3		8	
共通仮設	運搬費	1	1				2	1	1				2	
	準備費		1		2		3	1	1		4		6	
	安全費 看板等設置撤去		1		2		3	1			3		4	
	営繕費				2		2				2		2	
	安全費					5	5					5	5	

四 工事費内訳 (注) 消費税抜きで記入してください

金額単位:千円

Table with columns for cost items (費目), total cost (元請+元請外注), and 10 contractor categories (1-10). Rows include direct construction costs (① 直接工事費), construction management fees (② 現場管理費), and other expenses (③ 外注費). Includes a summary table for labor and work days at the bottom.

黄色塗り部分:入力必要箇所
緑色塗り部分:入力不可
その他の部分:シートの書換等を防ぐ為、入力不可にして
いる。

工事名
平成19年度 長良川東島河道掘削工事

工事費内訳 注)消費税抜きで記入してください				
費目	(有)宮川興業 残土処理工(土砂運搬)	11 自然応用科学 準備工(伐木除根工)	12 (株)中日本ランド スケープ 仮設工(張芝復旧)	13 ワイド警備保障 (株) 交通誘導業務
① 直接工事費	2,039	2,293	285	0
(1) 材料費	755	98	100	0
(2) 労務費	1,020	777	175	0
(3) 機械器具等損料	264	900	10	0
(4) 資材機械等現場修理・管理費	0	0	0	0
(5) 直接経費	0	0	0	0
A 特許使用料	0	0	0	0
B 光熱電力使用料	0	0	0	0
(6) 特殊経費	0	518	0	0
② 間接工事費	403	704	130	3,341
(1) 共通仮設費	0	83	0	2,363
イ 運搬費	0	83	0	0
A 普通材	0	0	0	0
1 仮設材①	0	0	0	0
2 仮設材②	0	0	0	0
3 仮設材③	0	0	0	0
4 敷鉄板類①	0	0	0	0
5 敷鉄板類②	0	0	0	0
6 敷鉄板類③	0	0	0	0
7 橋梁等架設支保工	0	0	0	0
8 橋梁用架設タワー等	0	0	0	0
9 橋梁用仮設設備	0	0	0	0
10 積み込み取り卸し費	0	0	0	0
11 トンネル用スライドセントル	0	0	0	0
12 その他	0	0	0	0
B 建設機械20t未満	0	53	0	0
① 自走・貨物自動車等による運搬	0	53	0	0
② 日々回送による運搬	0	0	0	0
③ 現場内小運搬	0	0	0	0
C 建設機械20t以上	0	0	0	0
① 貨物自動車等による運搬	0	0	0	0
② 自走による運搬	0	0	0	0
③ 日々回送による運搬	0	0	0	0
④ 現場内小運搬	0	0	0	0
ロ 準備費	0	0	0	0
A 準備・測量等	0	0	0	0
B その他	0	0	0	0
ハ 事業損失防止施設費	0	0	0	0
ニ 安全費	0	0	0	2,363
安全管理費	0	0	0	0
A 安全管理費	0	0	0	0
① 工事区域内全般の安全管理上の監 視、あるいは連絡等に要した費用(稼 働日の保安要員等の費用を含む)	0	0	0	0
② 不稼働日の保安要員等の費用	0	0	0	0
③ 標識板、標識、保安燈、防護網、バリケード 等の安全施設等の設置、撤去、維持に要 した費用及び使用期間中の損料	0	0	0	0
④ 夜間作業を行う場合における照明に 要した費用	0	0	0	0
⑤ 熱中症の予防に要した費用	0	0	0	0
⑥ 河川、海岸工事における救命艇に要 した費用	0	0	0	0
⑦ 粉塵作業の予防に要した費用	0	0	0	0
⑧ 長尺トンネル等における防火安全対 策に要した費用	0	0	0	0
⑨ 安全用品等の費用	0	0	0	0
⑩ 安全委員会等に要した費用	0	0	0	0
⑪ 国土交通省(港湾・航空)発注工事に おける再仕設置設置、撤去、維持管 理に要した費用	0	0	0	0
B 交通誘導員等	0	0	0	2,363
C 鉄道空港安全管理	0	0	0	0
D 美化等	0	0	0	0
E 高圧作業予防	0	0	0	0
F 船舶安全確保・警戒船	0	0	0	0
G タム発給・監視費	0	0	0	0
H トンネル工事における呼吸用保護具	0	0	0	0
I その他	0	0	0	0
ホ 役務費	0	0	0	0
A 土地の借上費	0	0	0	0
B 電力用水等基本料	0	0	0	0
ヘ 技術管理費	0	0	0	0
A 品質管理費等	0	0	0	0
B 特別な品質管理	0	0	0	0
C 現場条件等費用	0	0	0	0
D 品質証明(社内検査)に要した費用	0	0	0	0
E 各種調査等	0	0	0	0
F 各種台帳等	0	0	0	0
G その他	0	0	0	0
ト 営繕費	0	0	0	0
A 建物費	0	0	0	0
B 借上費	0	0	0	0
C 宿泊費	0	0	0	0
D 労働者送迎費	0	0	0	0
E 監督員詰所等	0	0	0	0
F 美化等1	0	0	0	0
G 美化等2	0	0	0	0
H その他	0	0	0	0
I 労働者海上輸送費	0	0	0	0
チ その他	0	0	0	0
リ 技術者間接費(電気工事、光ケーブル工 事の場合)	0	0	0	0
(2) 補償費	0	0	0	0
(3) 現場管理費	403	651	130	978
イ 労務管理費	0	62	7	0
ロ 安全訓練等費用	52	0	24	91
A 安全・衛生に要した費用	26	0	12	51
B 研修訓練等に要した費用	26	0	12	40
ハ 租税公課	1	2	2	1
ニ 社員等従業員給料手当	0	0	0	0
ホ 退職金	0	0	1	1
ヘ 保険料	0	10	2	0
① 火災保険	0	0	0	0
② 工事保険	0	0	0	0
③ 自動車保険	0	10	1	0
④ 組立保険	0	0	0	0
⑤ 法定外の労災保険	0	0	0	0
⑥ その他損害保険	0	0	1	0
ト 法定福利費	141	101	25	0
A 労災保険料	0	0	0	0
B 雇用保険料	13	10	2	0
C 健康保険料	51	36	9	0
D 厚生年金保険料	77	55	14	0
E 建退共制度掛金	0	0	0	0
F 船員保険料	0	0	0	0
チ 福利厚生費	0	0	1	6
リ 補償費	0	0	0	0
ヌ 通信交通費	0	0	1	0
ル 交際費	0	0	1	0
ロ 寄付金	0	0	0	0
ワ その他	0	0	0	0
カ 外注一般管理費等	209	476	66	879
(3) 外注費(下請は、外注一般管理費等の自動計算)	209	476	66	879
(4) 一般管理費等 自動計算値 = 2711	0	0	0	0
(5) 鋼橋等工場製作費(電気工事・光ケーブル工事の 場合は、機器費)	0	0	0	0
(6) 別添調査等工事価格	0	0	0	0
(7) 工事価格	2,442	2,997	415	3,341
(8) 消費税相当額(下請は、下請工事価格の自動計算値)	2,442	2,997	415	3,341
(9) 工事請負金額	0	0	0	0
(10) 営繕費のうち、地代に要した費用	0	0	0	0
(11) 準備費のうち伐開、除根、除草等に要した費用	0	0	0	0
(12) 仮設費(直工)にてイメージアップに要した費用	0	0	0	0
(13) 二次下請負者の数	0	0	0	0
(14) 二次下請負者の外注一般管理費等の合計	0	0	0	0
(15) 二次下請負者への発注工事価格の合計	0	0	0	0
(16) 延実人員数と作業日数				
(1) 労働者延人員	74	43	13	315
(2) (1)のうち通勤労働者延人員	74	43	13	315
(3) 技能関係等従事者延人員	0	0	0	0
(4) 技術事務関係社員等従業員延人員	0	0	0	0
(5) 作業日数	36	16	5	67
(17) 現場管理費その他のうち、事務用品費に要した費用	0	0	0	0
(18) 現場管理費その他のうち、動力・用光熱費に要した費用	0	0	0	0
(19) 安全費その他のうち、水雷・傷害保険に要した費用	0	0	0	0

黄色塗り部分:入力必要箇所
 緑色塗り部分:黄色セルの入力に伴う自動計算(入力不可)
 その他の部分:シートの書換等を防ぐ為、入力不可にして
 いる。
 パスワードが要求される場合の対処方法:
 入力箇所が間違っているためであり、指定箇所(黄色塗り
 部分)に入力して下さい。